

甲斐市総合計画審議会委嘱状・任命書交付式及び第1回審議会【要録】

日時：平成27年7月13日（月）

午後1時30分～3時

場所：甲斐市役所新館2階 防災対策室

出席委員：【24名／25名】

欠席委員：中井委員

【委嘱状・任命書交付式】

1 開会

2 委嘱状及び任命書交付式

市長から各委員に対して委嘱状及び任命書が交付された。

3 市長挨拶

日頃から甲斐市政につきましてご理解、ご協力を賜りありがとうございます。この機会に厚くお礼申し上げます。甲斐市は平成16年9月に旧町が合併し誕生いたしました。新市建設計画を基に策定いたしました平成18年度を初年度とし、平成27年度を目標年度とする第1次総合計画が今年度で終了することとなりました。第1次総合計画は「緑と活力あふれる生活快適都市」を将来像とし、各種の政策・施策を進め、また協働のまちづくりを進めてまいりました。その結果として、県内27市町村のなかでも大きな人口が維持され、一定の成果を収めてまいりましたが、自治体を取り巻く環境はますます厳しさを増しています。国では昨年度、2060年を視野に入れた長期の人口ビジョンと今年度から5年間の「まち・ひと・しごと総合戦略」が策定され、今年度は地方の特性を踏まえた地方版人口ビジョンと地方版の総合戦略が策定される節目の年となります。総合戦略の策定あたりましては、市民及び産官学金労言等で構成する審議会で広く意見をいただきたいということで、総合計画の審議会と兼ねて皆様に委員をお願いすることになりました。今後6回ほどの審議会を予定しておりますので、積極的なご審議、ご指導をよろしく願いたします。

4 委嘱状・任命書交付式閉会

【第1回審議会】

1 開会

事務局から審議会委員名簿により各委員の紹介及び職員の紹介、配布資料の確認。

※配布資料

- ・ 次第、委員名簿、案件、甲斐市総合計画審議会条例
- ・ 第2次甲斐市総合計画構成素案、第2次甲斐市総合計画基本構想素案
- ・ 甲斐市市民アンケート調査報告書

- ・ 第1次甲斐市総合計画概要版

2 役員選出（会長、副会長）

会長に山梨県立大学国際政策学部総合政策学科教授の波木井昇委員を選出。

副会長に自治会連合会会長の間瀬孝一委員を選出。

3 会長あいさつ

波木井会長

会長に選出されました山梨県立大の波木井です。ここ数年日本全体、山梨県全体で人口が減少するなかで、甲斐市は人口減少と無縁の地域でありました。これは地域経営、まちづくりがうまく遂行されてきた結果だと思われます。しかし、今後の各種の人口推計を見ますと、やはり人口減対策を織り込んでいくことが必要であり、子どもからお年寄りまで様々な世代がいきいきと生活を営んでいける地域をどうつくっていくかが課題となります。市民及び各界の代表としての皆様の活発なご発言、ご協力をよろしくお願いいたします。

（市長公務により退席）

波木井会長

甲斐市総合計画審議会基本条例第6条により、本会議は成立しております。

それでは次第にそって議事を進めます。

事務局から案件(1)第2次甲斐市総合計画について説明をお願いします。

(1) 第2次甲斐市総合計画について

事務局（内藤秘書政策課長）より資料説明

質問等はなし

(2) 市民アンケート調査結果について

事務局（内藤秘書政策課長）より資料説明

質問等はなし

(3) 第2次甲斐市総合計画構成素案及び基本構想素案について

事務局（内藤秘書政策課長）より資料説明

立澤委員（社会教育委員）

第1次総合計画の成果指標の数値目標値の評価はどうなっているのか。公表されているのか。数値目標の達成状況について次回審議会で示していただきたい。

教育分野では創甲斐教育推進大綱、環境分野では環境基本計画が策定されているので、その内容を参考にさせていただきたい。

事務局（内藤秘書政策課長）

成果指標については、毎年チェックしており、そのほか各課で施策の自己評価もしている。その結果については次回資料を用意してお示しいたします。

創甲斐教育推進大綱、環境基本計画等の個別計画の内容については各策定部会等において検討し整合性を取りながら策定していきます。

中村委員（甲斐市商工会）

人口の推計について次回審議会で資料を提示し、ご説明をお願いしたい。

事務局（内藤秘書政策課長）

人口問題は課題であり、人口推計については総合計画とともに、現在「人口ビジョン」としても検討しており、次回にそこでの推計結果をお示し、落としどころをどこにするかなど、ご意見いただきたいと思っている。

間瀬副会長（自治会連合会）

第1次総合計画の6本の基本政策が、第2次総合計画の素案では5本の基本目標となっている。第1次の各政策・施策のPDCAが第2次の政策・施策につながっていくと思う。いままでの行政改革においては5年ごとの成果指標の目標値はあれど、毎年のチェックができていなかった。5年ごとのチェックではなく、毎年度目標を見直してスピードをもった施策展開をしていただきたい。そうしないと行政は何をやっているのかということになり、総合計画も絵に描いたもちになってしまう。

事務局（内藤秘書政策課長）

第1次総合計画の成果指標の目標値については毎年チェックしており、第2次総合計画においては、総合戦略のKPIに基づく毎年の評価も毎年チェックしてPDCAサイクルを回し行く考えです。

事務局（有泉企画政策部長）

補足の説明をさせていただきます。成果指標については各分野で毎年チェックしており、昨年度は第1次総合計画の各施策の評価についてもヒアリングをかけております。これらを踏まえて第2次総合計画の政策施策をつくりあげるとともに、毎年PDCAを回していくことで政策施策の推進につなげていきたいと考えております。

市民アンケートの結果をみると、防災の面やまちづくりの面など合併後の行政組織力に関連する施策については満足度が高いですが、産業振興関連施策などの分野では満足度は全

般的に低くなっています。第2次総合計画においてはこのあたりの分野に力を入れていくことが必要と考えております。

三菱総研の理事が地域の課題を見つけてそれに取り組むことが地域活性化につながると言っていました。甲斐市の地域課題を審議会委員の皆さんとともに見つけ、委員の皆様の意見もお聴きしながらその解決に努めてまいりたいと思います。

いま5本の柱がありますが、こちらから資料はできるだけ出してまいりますので、各分野について委員の皆様のご意見、ご審議をよろしくお願いいたします。

波木井会長

間瀬委員からの質問に対する議論はこのあたりにして、そのほかの質問・意見はございませんか。

三井亮委員（一般公募）

東京圏における移住希望者に関する意向調査等を行っているか。

事務局（内藤秘書政策課長）

人口ビジョンの策定にあたって転出者のアンケートを行っており、移住セミナーでは意向調査等を行い情報収集に努めています。

(4) 甲斐市人口ビジョン及び甲斐市総合戦略（仮称）について

事務局（内藤秘書政策課長）より説明

河西委員（社会福祉協議会）

当面の10年となれば、教育よりも基本目標の2番目の福祉、3番目の都市基盤の柱のほうは先ではないか。次回にそのあたりの説明をいただきたい。

事務局（内藤秘書政策課長）

次回ご議論をお願いします。

岩下委員（山梨日日新聞社 山梨放送）

人口ビジョンに関連して、企業誘致や移住について検討するために、夜間人口、昼間人口の資料を準備していただきたい。

事務局（内藤秘書政策課長）

準備いたします。

市川委員（一般公募）

私は商工会青年部の活動において、マスコットキャラクターの制定などに関わっている。マスコットキャラクターや市の花、さくらなどを活用し、収入につながることや、楽しさも取り入れていただきたい。

事務局（内藤秘書政策課長）

10周年記念で発表されたマスコットキャラクターや市の木、市の花などについても言及していきたいと思います。どこに入れていくかも含め今後検討していきます。

長倉委員（山梨学院大学）

市民アンケートにおいて、歩道の整備や生活道路の整備・改良などの期待が高いにもかかわらず満足度が低くなっている。交通事故などの資料を次回出してほしい。

事務局（内藤秘書政策課長）

市内の事故件数、事件件数などはわかりますので、ご用意いたします。

河原委員（日本政策金融公庫）

基本目標については数値目標を設定したい。現状の数値と数値目標を示していただきたい。重点的に改善すべきところのデータを用意してほしい。

事務局（内藤秘書政策課長）

数値目標は大事だと考えております。

政策の下の具体的な施策について数値目標を設定することで、基本目標の達成度を評価していくことを考えています。

中込委員（一般公募）

移住を考えた時に、北海道から東京へ来た人が山梨に来るとは思えない。山梨から東京へ行った人がどのくらい帰ってくるかというデータはあるか。

事務局（内藤秘書政策課長）

それそのもののデータはないが、甲斐市から東京へ出て行った人が何人で、東京から甲斐市に帰ってきた人が何人というデータはあるので、お示ししたい。

われわれとしても一度東京圏などに出て行った若い人に戻ってきてもらう施策が重要と考えています。

波木井会長

それでは、本日の審議はこれで終えたいと思います。進行を事務局にお返しいたします。

5. その他

立澤委員（社会教育委員）

8月の審議会はいつ頃を予定しているか。

事務局（内藤秘書政策課長）

8月10日の本日と同じ13時半からを予定しています。

6. 閉会